

東三河の農業と アーバンファーミング



世界で急拡大するアーバンファーミング、そのアーバンファーミングと農業の関係とは？

私たちはこのまま、生きる上で不可欠な「食」や「農」にまつわることを、人まかせにしたままでいいのだろうか？
生きる上で最も大事な“食”という要素をアウトソーシングし続ける社会には、いつか限界がやってくる。
既存の農業一択という現状を、なんとか変えなければいけない。

今、世界的に急拡大しているアーバンファーミング(都市農)。その都市農が既存の農業との接点として高い注目を浴びている。農業ではなく、“農的な活動”として敷居を下げることで、一般の方が参加しやすくなり、地域の食文化や、魅力を再発見し、そして人と人との繋がりを強める取り組みへと繋がっている。ローカルの持つ強みや独自の特色を魅せる“場”となるアーバンファーミングを東三河で展開した際の妄想・ディスカッションの90分。

2024年

11月11日(月)

15:30~17:00(受付15:00~)

会場:emCAMPUS STUDIO SEMINAR ROOM A・B

(豊橋市駅前大通2-81 JR豊橋駅東口より徒歩5分)



講師:芹澤 孝悦 氏

プランティオ株式会社 代表取締役 CEO

◆お申込みは、右記の「二次元バーコード」、または下段の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにて事務局までお送りください。



◆申込締切日:2024年11月6日(水)

《お問い合わせ先》

豊橋市駅前大通 3-53 太陽生命豊橋ビル 2階
東三河懇話会 事務局 (担当:小野)
TEL:0532-55-5141 FAX:0532-56-0981
E-mail:ono@konwakai.jp

【講師略歴】

大学卒業後 IT のベンチャー企業へ。エンターテインメント系コンテンツのプロデューサーを経て、日本で初めて“プランター”という和製英語を発案・製品を開発し、世に広めた家業であるセロン工業へ。

2015年、元祖プランターを再定義・再発明すべくプランティオ株式会社を創業。発明の本質は高性能なプランターを開発した事ではなく、アグリカルチャーに触れる機会を創出した事と捉え、2020年“grow”ブランドを発足、食と農の民主化を目指す。

2024年6月、渋谷から都市の緑地化と生物多様性を促進しながら、コミュニティ形成と新たな食文化の実現を目指す「SHIBUYA Urban Farming Project」のアドバイザー就任。

【参加申込書】

FAX:0532-56-0981

E-mail:ono@konwakai.jp

会社・団体名			
所属・役職	参加者氏名		
電話番号	E-mail		